
平成 28 年度

まちづくり活動助成 活動視察

緑区片平学区連絡協議会

片平学区自主防災訓練の実施

■平成 28 年 9 月 25 日（日）10 時～12 時

■場所 緑区鳴海町片平 市立片平小学校

■緑区片平学区連絡協議会

緑区片平学区連絡協議会は、平成 23 年より行っている片平学区内の老人クラブ「新千鳥会」の花いっぱい運動が発展し、現在は学区連絡協議会として地域一体となり、花・緑をベースにした活動に取り組んでいます。

■活動のようす

「地域“魅力”アップ部門」で選考された緑区片平学区連絡協議会の自主防災訓練の活動視察に伺いました。



小学校まで避難する町内の住民

訓練は 9 時から開始され、片平学区の各町内 20 カ所の自主防災会が主導し、住民と共に避難場所となっている片平小学校に向いました。

小学校に向っているときには、各町内が歩いてきた避難経路の危険箇所をチェックし、各項目に分かれたシールを地図に貼っていきました。

■危険箇所のチェック項目

赤色シール：赤道幅が狭く家屋倒壊で通行できなくなる



危険箇所にシールが貼られた片平学区の地図

黄色シール：がけ崩れの心配がある地域がある

青色シール：高低差があり、避難ができない

各町内でチェックしたチェック箇所は区全域の地図に記入しました。この地図を活用して行政などと話し合い、学区の避難経路マップ作成に活かされるそうです。

各戸の玄関先には「わが家は無事です」のカードが掲げられており、家に住まれている方の安否確認がすぐにできるようになっていました。カードの中には、災害が起きた場合の簡単な避難手順やガスや電気ブレーカーのチェック、飲み水・生活用水の確保、非常持出し品の確



各戸に掲げられたカード

認が出来るようなカードも入っており、突然の場合に円滑に行動できるようになっていました。

避難場所となっている片平小学校では、簡易トイレの設置や救急救命訓練としてAED機器体験、けが人の対応に使用する担架や三角巾の利用方法の訓練が行われました。訓練は区内の災害ボランティア団体や消防団などの方々が指導にあたり、参加者は、普段なかなか経験の出来ない訓練に注目しながら体験していました。



各種訓練の様子

また、展示コーナーでは、100円均一で揃えることができる防災用品や家具転倒防止の展示などが並べられ、皆さん熱心に説明を聞いていました。



展示された防災ツール

これまで花育などの活動で子どもから高齢者を巻き込んで、地域住民と魅力あるまちづくりを進めたなかで培われたまちへの思いを防災にも活かし、継続されることを望みます。

